

# か てい 1. 家庭とは？

こ いえ み  
子どもが家で身につけたことは、  
しょうがい い つづ  
生涯、ずっと生き続ける。



- こ ねが なん おも  
子どもたちのいちばんの願い、それは何だと思えますか？
- じぶん たいせつ こ たいせつ  
自分を大切にできないならば、子どもを大切にすることもできない。
- こ そだ ははおや しごと おも とう ようちゅうい  
子育ては母親の仕事、そう思っているお父さんは要注意。
- はな かぎ はな  
話せばわかるとは限らないが、話さなければもっとわからない。
- まえむ おや すがた こ とど  
前向きな親の姿は、きっと子どもに届いている。
- じょうしき つうよう もんだい ぶ  
これまでの常識では通用しない問題が増えている。
- い かた こ さいこう きょういく  
あなたの生き方が、子どもへの最高の教育になる。

## 子どもたちのいちばんの<sup>ねが</sup>願い、 それは何だ<sup>なん</sup>とおも<sup>おも</sup>いますか？

「あなたの<sup>かてい</sup>家庭にもっとのぞむことがあるか」と、<sup>こ</sup>子どもたちに聞いたところ、どの<sup>ねんだい</sup>年代の<sup>こ</sup>子どもでも一番<sup>いちばん</sup>多かった<sup>おお</sup>答えは「<sup>かぞく</sup>家族のみんなが<sup>たの</sup>楽しくすごす」でした。

そんな<sup>あ</sup>当たり前の<sup>まへ</sup>ことを子どもたちが<sup>こ</sup>願わ<sup>ねが</sup>ざるを得<sup>え</sup>ない<sup>げんじつ</sup>現実を、<sup>おや</sup>親として<sup>しんけん</sup>真剣に<sup>う</sup>受け止<sup>と</sup>めたいものです。

<sup>ひつよう</sup>必要な<sup>あた</sup>モノを<sup>こ</sup>与えてい<sup>そだ</sup>れば<sup>おも</sup>子どもは<sup>じ</sup>育つ、<sup>だい</sup>と思<sup>たの</sup>えた<sup>かてい</sup>時代も<sup>かぞく</sup>あり<sup>い</sup>ましたが、<sup>しきてき</sup>いまや<sup>い</sup>楽しい<sup>え</sup>家庭は、<sup>きょうりよく</sup>家族が<sup>あ</sup>意識<sup>え</sup>的に<sup>あ</sup>協力<sup>あ</sup>し合<sup>あ</sup>わなければ、<sup>え</sup>なかなか<sup>え</sup>得<sup>え</sup>られません。

<sup>こ</sup>子どもにとって、<sup>やす</sup>こころ<sup>い</sup>安<sup>い</sup>らぐ<sup>い</sup>居場所<sup>い</sup>になっ<sup>い</sup>ているか<sup>い</sup>どうか、<sup>かてい</sup>家庭<sup>み</sup>を見<sup>な</sup>つめ<sup>な</sup>直<sup>な</sup>してみ<sup>な</sup>ましょう。



## <sup>やす</sup>安<sup>たの</sup>らぎのある<sup>かてい</sup>楽しい家庭<sup>かてい</sup>をつくる

## 自分を大切にできないならば、 子どもを大切にすることもできない。

子育ては大事ですが、一日中、わき目もふらずに集中しては疲れてしまいます。親のイライラは、子どもにも伝わっていくものです。

大変な子育てだからこそ、自分の時間をつくり、心を健康に保つことが大切です。夫婦や家族で助け合ったり、子育てサポーターや子育てネットワークといった育児を手伝う仲間や仕組みを活用したりして、リフレッシュする時間をつくりましょう。

親が幸せで笑顔でいる家庭でこそ、子どもも幸せを感じられます。



親の笑顔が子どもの笑顔をつくる

# かてい 1. 家庭とは？



## ほんわかけばあい 本和加家の場合



# 子育ては母親の仕事、 そう思っているお父さんは要注意。



家庭での父親の存在感が薄いことが指摘されています。  
母親だけに子育ての責任がゆだねられ、父親の理解や  
協力がないままでは、母親の子育てに対する不安感や負  
担感が増したり、母と子の関係が密着しすぎたりするこ  
とにつながる心配があります。

父親がもっと家庭の中での役割を積極的に担い、「しつ  
け」についてよく話し合っていくことが大切です。

そのためにも、お互いに尊重しあい、子どもの前で相手  
をけなしたり、見下したりすることのないように気をつ  
けましょう。



きょうどう  
共同して子育てをする



はな かぎ  
話せばわかるとは限らないが、  
はな  
話さなければもっとわからない。



ふうふう あいだ おやこ あいだ かいわ ふう か  
夫婦の間、親子の間での会話を増やしていくことが、家  
てい  
庭づくりのすべての基礎になります。ほんとうは何でも  
はな なか  
話せる仲でありたいものです。

ひび かいわ ふう いっしょ しょくじ  
日々の会話を増やすには、できるだけ一緒に食事をし、  
たが ひ はな いっしょ かじ  
お互いにその日にあったことを話すと、一緒に家事を  
したりスポーツをしたり、また地域のボランティア活動  
ちいき かつどう  
に参加したりする、などの工夫をすることが大切です。

ししゅんき だんじょ からだ きゅうそく せいちよう はじ  
また、思春期になると、男女とも身体が急速に成長し始  
めます。ふ あん からだ へんか  
不安やとまどいなどが無いよう、身体の変化につ  
いて話してあげることが大切です。

かい わ ふう か ぞく きずな ふうか  
会話を増やし、家族の絆を深める

まえ む おや すがた  
前向きな親の姿は、  
こ とど  
きっと子どもに届いている。



ひとり親家庭や共働き家庭では、親が働きながら子育て  
をするため、子どもとの時間が少なくなりがちです。しか  
し、子を思い、より良い将来に向かって努力する親の姿は、  
しっかりと子どもたちの心に響いているはずです。

また、さまざまな悩みなどは、ひとりで抱え込まず、親  
類や友人の協力を得たり、地域の相談窓口や子育てサポー  
ターや子育てネットワークといった、応援・サポートして  
くれるシステムなどを積極的に活用したりしましょう。



なや まえ む こそだ  
ひとりで悩まず、前向きに子育てしよう

じょうしき つうよう  
これまでの常識では通用しない  
もんだい ふ  
問題が増えている。



こそだ ふあん ふとうこう なや かか  
子育ての不安、いじめや不登校などで悩みを抱えたとき、  
はいぐうしゃ おや ゆうじん そうだん おお  
配偶者や親・きょうだい・友人などに相談することが多い  
のですが、それだけでは解決できないときもあります。社  
かい きゅうそく へんか かてい たようか きょういく こ  
会の急速な変化や家庭の多様化から、これまでの教育や子  
そだ けいけん てきせつ じょうげん もんだい おお  
育ての経験だけでは適切な助言が、むずかしい問題も多い  
からです。そういうときは迷わずまよ せんもんか そうだん  
専門家に相談しましょう。  
がっこう せんせい かていきょういく そうだん きょう  
学校の先生・スクールカウンセラー・家庭教育相談・教  
いく けいさつ しょうねん そうだん まどぐち こ かてい  
育センター・警察の少年相談窓口・子ども家庭センター  
じどうそうだんじょ せいしん ほけんふくし なや でん  
(児童相談所)・精神保健福祉センター(こころの悩み電  
わ そうだん そうだん きかん  
話相談)など、さまざまな相談機関があります。

それぞれの特色を知り、相談内容にふさわしい機関を選  
びゆうきをだ そうだん  
び勇気を出して相談してみましよう。

とき せんもんか ちえ か  
時には専門家の知恵を借りる



あなたの生き方が、  
子どもへの最高の教育になる。



これまででは勤勉で従順な人が社会から求められましたが、  
これからは問題を解決するために自分で考え、工夫し、行動する、  
勇気ある社会人が求められます。

自分の会社の利益だけでなく、家庭や地域、そして社会  
全体にまで目を配り、積極的にかかわれる人に育てるために、  
まず親自身がその大切さを理解し、努力・挑戦することが  
大切です。



より良い社会をつくる努力を  
子どもに見せる

# 1. 家庭とは？



## 本和加家の場合

